

擧

～祝・卒業～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 3月15日(金) Vol.44

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も、自分も、大切にしよう」

「あきらめずに、取り組もう」



【ホームページへ】

ご卒業、おめでとうございます

13日(水)、51回目となる本校の卒業式を、無事に行うことができました。卒業生は、先生からの呼名に立派に応え、素晴らしい歌声を響かせて、堂々と巣立っていきました。

涙を浮かべている生徒や、静かに微笑む生徒など、表情は様々でしたが、校門を出るところには、誰もが晴れ晴れとした笑顔になっていました。

私は式辞の中で、卒業生の心に刻んでほしいことを3つ伝えました。1つめは、「未来は変えられる」ということ。2つめは、「あきらめない」ということ。そして、3つめは、

三つめは、「卒業証書の重みについて」です。

卒業証書には、あなたの名前があり、あなたの生まれた日が書かれています。家族は、あなたが生まれたこの日のことを、大いに喜んでくれたことでしょう。そして今日まで、様々な出来事に寄り添い、喜びも悩みも分かち合ってくれたことでしょう。

あなたが生まれてから今日まで、見守ってきてくれた、たくさんの人に、これからも感謝の心を持っていてください。

卒業証書の最後に書いてある番号は、51年前の、最初の卒業生から、ずっとつながっている番号です。中台中学校の卒業生は7500人以上いるのです。

卒業証書は、これほどたくさんの人の願いが込められた、お守りであり、絆の証なのです。……

一人ひとりの生徒にとって、私たち大人が想像する以上に、たくさんの出来事があったことでしょう。それぞれに、自力で、または周りの人に支えられながら乗り越えてきた、自信や達成感、これからの未来への希望も、感じられました。

卒業生たちが、これから先も、本校での日々を支えにして、それぞれの世界で活躍するようにと、心から願ってやみません。

【卒業生の保護者の皆様】

お子様のご卒業、誠におめでとうございます。これまで本校へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

お子様は、これから先も、自己主張したり、反発したりすることもあるでしょう。しかし、今後の心の成長とともに、振り返って優しく微笑んでくれる日が、必ず来ます。そして、「自分たちが、どれほど大切にされてきたのか」を、実感することでしょう。

これからも、お子様を支え、励ましていただきますようお願いいたします。卒業生の進む先が、明るく、温かい光に満ちあふれていることを、心から祈ります。71名の将来の姿が、今からとても楽しみです。



【卒業式前日の教室】



インフルエンザの状況について

今週になって、1年生を中心に、インフルエンザの罹患者が、少しずつ増えていることから、本日(15日)は、特に欠席者や早退者の多い1Bを学級閉鎖としました。1Bの保護者の皆様には、学級保護者会の中止など、急な変更になり、誠に申し訳ありません。

月曜日から、通常の登校にする予定ですが、引き続き、各家庭での健康管理や感染症対策について、ご配慮をいただきますようお願いいたします。

今後も、体調が思わしくないときは、無理をせずに休養・療養をするようお願いいたします。

栄光は君に輝く

12日(火)に、卒業式の最後の練習を終えた後に、賞状の伝達を行いました。文化系の活動が目覚ましい中で、運動部の活躍も目立つようになりました。コツコツと努力することが大切ですよ……と、この紙上でも、何度となく訴えてきました。では、努力すれば、必ずうまくいくのか、というと、答えは「否」です。どんなに頑張っても、いい成果につながるとは限りません。

しかし、いい成果を出している人は、必ず何かしらの努力をしているものです。努力して、結果が出なくても、あきらめずに努力を続けていけば、いい成果を出す可能性が、高まっていくはずですよ。

「いつかできるようになる・いつか到達する」と信じて、自分のペースで、コツコツと努力を続けられるよう願っています。

大会名・部門名	賞	氏名(学級)
成田市文化祭大会 バasketボール大会 一部リーグ女子の部	準優勝	
	最優秀選手賞	
	最優秀選手賞	
	優秀選手賞	
印旛カップBasketボール大会女子トップリーグ	準優勝	
印旛郡市中学校桜井杯Basketボール大会女子の部	第6位	
千葉県吹奏楽個人コンクール 印旛地区予選	銅賞	
四街道市近隣卓球大会女子団体	第3位	
印旛郡市中学校一年生卓球大会女子団体	第3位	
校内書き初め展	学校長賞	
	学年賞	
	学年賞	
	金賞	
選挙啓発書き初め展覧会	銀賞	
	銅賞	
	推薦	
全日本書初め大展覧会	特選	
	金賞	
全日本書初め大展覧会	日本武道館賞	

大会名・部門名	賞	氏名（学級）
二部会書き初め展覧会	特選	
	準特選	
	入選	
千葉県小中高校書き初め展覧会	書星会賞	
	特選	
	金賞	
	銀賞	
第二部会社会科資料作品展	金賞	
	入選	
福祉作品コンクール作文の部	入選	
福祉作品コンクール標語の部	入選	
	佳作	
9カ年精勤	2名	
3カ年皆勤	9名	
3カ年精勤	13名	

卒業式を支えた力

12日(火)の卒業式準備は、1、2年生ともに、よく働きました。重い物を運んだり、手が汚れたり、簡単な仕事ではなかったですが、生き生きと取り組みました。テキパキと活動し、約1時間で会場を完成させました。

会場準備と、卒業式での姿勢と合唱が、在校生から卒業生への最後の饞なのです。



【壇上花のボリュームに圧倒されつつも、慎重に運んだり、鉢植えをバケツリレー方式で次々運んだり。がんばったお陰で、会場が春らしくなりました】



【さすが中学生。一人で三脚も四脚も運んでし まうので、椅子並べはあっという間に完了】 【お互いに引っ張り合いながら、テーブル クロスを掛けて、長机をドレスアップ】 【3年生の教室を飾るのも大切な役目。旅立つ気持ちが高まる装飾をしました】

もちろん、当日の合唱は、全員が全力で歌い上げました。卒業生は涙をこらえて、在校生は様々な思いを込めて、体育館が震えるほどの歌声を響かせました。来賓の皆さんも、「合唱に感動しました」と口々におっしゃっていました。こうして、1、2年生に受け継がれた中台中は、令和6年度へと向かっていきます。この伝統を、新1年生にも受け継いでもらえるように、盛り上げてほしいものです。